



MACROMILL  
CARENET  
a Macromill Group company



PRO-DB  
Person-Reported Outcomes Database

# 患者起点で描く医薬品の価値最大化

～PRO-DBで捉えるアンメットニーズと  
Well-being向上を目指すエビデンスの創出～

## 開催日時

2026年11月17日(火)  
17:30～19:00

会場受付 17:00～

当日はプログラム終了後に軽食とお飲み物をご用意しております

## 会場

現地開催のみ

参加無料(事前申し込み制)

東京都中央区日本橋本町2丁目3-11  
日本橋ライフサイエンスビルディング  
LSB-201大会議室

# 概要

メディカルおよびヘルスケア領域で利用可能なデータベースとして、従来の商用レセプトデータベースに加え、電子カルテデータベースにも活用の可能性が広がりとつあります。さらに、民間企業によるPersonal health record(PHR)も存在し、ベンダー間のデータ連携・統合の可能性が進んできています。

一方で、生活の質(QOL)や生産性損失などのPatient-Reported Outcomes (PRO)は、必要に応じて調査会社によるアンケート調査で収集しており、そのため情報として断片化され、統合されたデータベースはほとんど存在しません。

ヘルスケアコンサルティングおよびマクロミルケアネットでは、2024年に一般生活者を対象に、現在の健康状態、QOL、生産性損失、ヘルスリテラシー、SDoHを定期的に聴取するPerson-Reported Outcomes Database(PRO-DB)の構築を開始し、2026年7月には3回目のアンケート調査を実施いたしました。

2024年から3回目を迎える本セミナーでは、上記のPRO-DBを用いた日常負担の可視化と課題抽出への活用に加え、医薬品のマーケティング・価値最大化におけるPROの可能性についてご紹介いたします。

## イベントプログラム

### 1. PROは医薬品マーケティングに何をもたらすか ― 戦略立案・価値訴求での活用可能性 ―

＜演者＞大澤 一範      株式会社ヘルスケアコンサルティング エグゼクティブアドバイザー 兼 戦略顧問

### 2. BMI別に見た2型糖尿病患者のウェルビーイング実現状況

＜演者＞大坂 耕一郎      株式会社マクロミルケアネット セールス&ビジネスディベロップメント部事業開発G

### 3. 精神・心療内科領域における回復要因の統計的解析報告

＜演者＞宮下 ちひろ      株式会社マクロミルケアネット クリニカルリサーチソリューション部 HEOR U

### 4. PRO-DBの2年分の連続回答データからみる疾患の新規発症とQOL・労働生産性の関連

＜演者＞岩崎 勝彦      株式会社ヘルスケアコンサルティング 取締役 COO シニアデータサイエンティスト

### 5. エビデンスを届け、価値につなげる ― 医療従事者・生活者・政策関係者への情報発信の重要性 ―

＜演者＞小久保 欣哉      二松学舎大学 国際政治経済学部 国際経営学科  
二松学舎大学大学院 国際政治経済学研究科 国際政治経済学専攻 教授  
株式会社ヘルスケアコンサルティング 代表取締役 CEO

### 6. 懇親会（軽食とお飲み物をご用意しております）

## 定員

### 会場 70名(現地開催のみ)

※ 上限を超えた場合は、抽選等になる可能性があります

## 対象業界

ヘルスケア業界(製薬、医療機器、ヘルステックなど)

※ 主催者と同業となる方にはお断りする場合もございます

## 参加登録/お問い合わせ

下記URLリンクからお申し込みください

<https://questant.jp/q/880207P4>